

第13回

岡山大学キャンパス発掘成果展



農耕のはじまりを考える

考古学と自然科学の融合、津島岡大遺跡での実践
Approaches to the early agriculture

企画展 2011. **7/13** (水) ~ **7/18** (月・祝)
10:00 ~ 17:00

岡山大学創立五十周年記念館 1F 交流サロン

シンポジウム 2011. **12/11** (日)
13:00 ~

岡山大学創立五十周年記念館 2F 会議室

主催 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

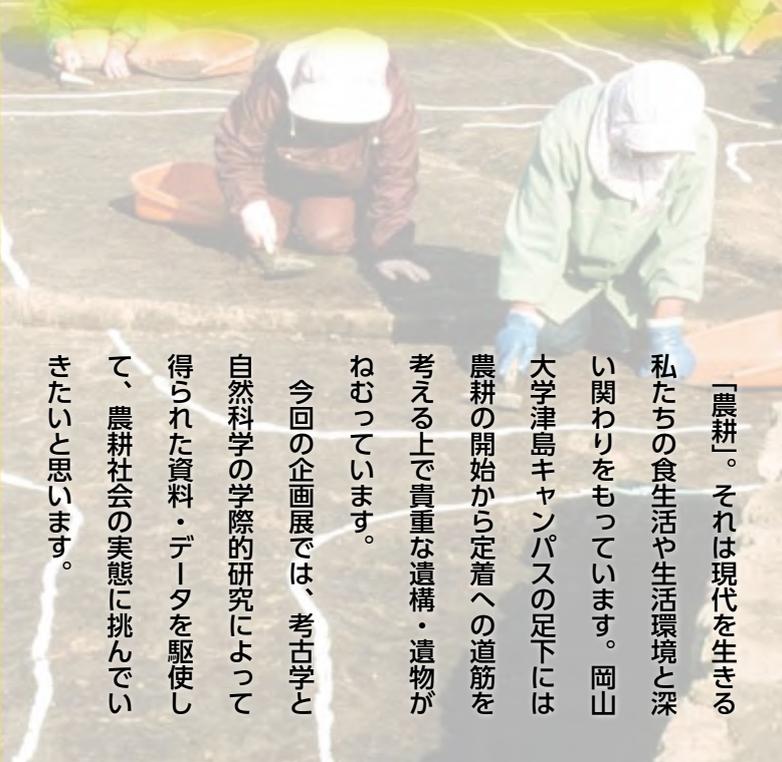
TEL&FAX 086-251-7290

ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/user/arc/archome.html>

イネのプラントオパール

農耕のはじまりを考える

考古学と自然科学の融合、津島岡大遺跡での実践



「農耕」。それは現代を生きる

私たちの食生活や生活環境と深い関わりをもっています。岡山

大学津島キャンパスの足下には

農耕の開始から定着への道筋を

考える上で貴重な遺構・遺物が

ねむっています。

今回の企画展では、考古学と

自然科学の学際的研究によって

得られた資料・データを駆使し

て、農耕社会の実態に挑んでい

きたいと思えます。

企画展

2011. 7/13(水)~18(月・祝)

10:00~17:00

岡山大学創立五十周年記念館1F交流サロン

栽培植物のはじまり

津島岡大遺跡では考古学と自然科学の調査により種子や花粉などの植物遺存体が検出されています。植物遺存体からどのような植物が栽培され、食べられたのかを考えていきます。

謎の「黒色土」

津島岡大遺跡の周辺では水稻農耕開始期の水田が「黒い土」の上に作られます。この「黒色土」を考古学と自然科学の面から徹底解剖し、水稻農耕開始期の謎に迫ります。

土器や石器に残る植物利用の手がかり

縄文時代と弥生時代では土器の形や、石器の種類が異なります。ここでは土器や石器の機能に着目して当時の食料事情を復元していきます。

チャレンジ 体験！大昔の種子を見てみよう！！

遺跡から検出される植物遺存体はとても小さいです。皆さんも顕微鏡を覗いて大昔の植物をみてみましょう！

これ何のタネかな～？



コウコガク・カフェ 無料 申込不要

2011. 7/16(土)・18(月・祝)

14:00~16:00

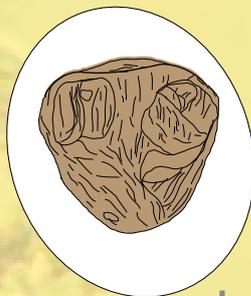
(時間内は随時参加できます。)

岡山大学創立五十周年記念館1Fロビー

カフェのような雰囲気です。コーヒー片手に展示品などについて調査員とともに語りあいましょ！みなさんの疑問・質問お待ちしております！



速報 最古の猫形木製品！



平安時代のネコはどんな顔かニヤ？

シンポジウム 無料 申込不要

2011. 12/11(日)

13:00~16:30

岡山大学創立五十周年記念館2F会議室

岡大埋文センター、岡山県古代吉備文化財センター、岡山市教育委員会によるこれまでの調査成果から、岡山平野における初期農耕の姿を描き出します。

※詳細は後日あらためてお知らせします。



岡山市北区津島中三丁目1番1号

主催／岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

TEL&FAX 086-251-7290

ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/user/arc/archome.html>